

フランク・ステラ Frank STELLA

1936年アメリカ、マサチューセッツ州モールデンに生まれる。フィリップス・アカデミーを経て、1958年プリンストン大学卒業。同年、アルバイトで使用していたペンキ塗装の道具を使用し、黒いエナメル塗料を刷毛の幅でストライプ状に塗り、それを平行に連続させた規則的なパターンによる絵画〈ブラック・ペインティング〉シリーズの制作を開始。1959年、ニューヨーク近代美術館の企画展「16人のアメリカ作家展」に最年少で選ばれ、出品。1960年、ストライプを折れ線とすることで生じる余白を排除した〈アルミニウム・シリーズ〉を開始。以降、ステラは描かれるものの形に支持体を変形させた作品に取り組む。変形キャンバスによる絵画はキャンバス=長方形という従来の固定観念からの解放を意味するとともに、物体としての側面をも強く持つことになった。1960年代は幾何学形態や様々な色彩を用いた構成を試みた〈不整多角形シリーズ〉や〈分度器シリーズ〉などを発表。〈ブラック・ペインティング〉から一転、色彩に内在する情動的な力を用いることで、絵画にイリュージョンの要素を加えることとなった。1966年「システムック・ペインティング」(グッゲンハイム美術館、ニューヨーク)、1968年「アート・オブ・ザ・リアル」(ニューヨーク近代美術館)出品。1970年代に入ると、不規則な曲線を多く用いた有機的な形態と激しい色彩と筆触を特徴とする、金属製のレリーフ作品を制作。同時代の絵画動向である新表現主義にも影響を与えた。1986年には、鋳造されたオブジェを組み合わせたシリーズの制作を開始し、1990年代以降は公共空間に設置される大型彫刻へと展開。1991年には北九州市立美術館と川村記念美術館で「フランク・ステラ1958-1990」を開催。1993年「第2回国際鉄鋼彫刻シンポジウム」(北九州市八幡)に参加。この時発表された《八幡ワークス》は北九州市立美術館本館の敷地に設置されている。

バサラ門II (分度器シリーズ)

Basra Gate II (Protractor Series)

1968

ポリマー塗料、蛍光ポリマー塗料・画布

polymer and fluorescent polymer paint on canvas

153.0×305.8

3-A-13

江上計太 EGAMI Keita

1951年福岡県大牟田市に生まれる。1977年東京芸術大学芸術学科卒業し、福岡に戻る。1977年山野真悟らとともに『世纪末評論』を発行(1980年第2号を発刊、以後休刊)。1978年「版画教室」(IAF芸術研究室)に参加。ミニマル・ミュージックに影響を受け、その思想の造形化として、幾何学形体を組み合わせた版画やドローイングを制作。以後一貫して、モダニズムの文脈と自身の音楽体験をベースに、ミニマルな構成原理に基づく単純な形と色による作品を発表。1983年頃より、商業施設やアパートや街中の空間に展開するインスタレーションを開始。1990年代から、彫刻的でも絵画的でもありながら、そのどちらでもないリーフ型の作品に着手。ミニマルとバロックという対極的要素の融合を目指すとともに、色彩を解放し、複雑かつ微妙な変化によって密度を表現した。自身の手作業によって行われることを特徴とする江上の作品は、単純な幾何学形態で構成されるが、ミニマリズムやモダニズムの範疇から超えるものと評価される。1990年第5回バングラデシュ・ビエンナーレ最高賞受賞。1995年第5回ガスコニュ・ジャバニーズ・アート・スカラシップで南仏モンフランカンにて滞在制作。1999年第7回福岡県文化賞受賞。2002年「第2回21世紀の作家—福岡 江上計太展 ユートピアン・メランコリア」(福岡市美術館)。コミッショニングワークやパブリックアートも多数あり、代表的なものにファーレ立川(東京都立川市)、渋谷マーク・シティ(東京都渋谷区)、博多リバーライン フェスタ・スクエア(福岡市)がある。近年は「江上計太の部屋」と題したシリーズでインスタレーションの展示を行う。

サイケデリック・バロキズムNo.7

Psychedelic Baroqueism No.7

1994

アクリル、合板

Acrylic, plywood

184.4×140.5×30.5

1-G-40

MOON KYTE

MOON KYTE

1999

アクリル、合板

Acrylic, plywood

202.0×578.0×47

1-G-54

ミニマルなかたち

Minimal Forms

会期 2021年8月3日(火)-10月17日(日)

会場 近現代美術室B



ミニマルとは、「最小の、極小の」という意味。1950年代後半の美術、デザイン、音楽の領域で、要素を極限まで排することで本質的なものを表現しようとする「ミニマリズム」の動きが生まれ、1960年代に顕著になりました。1965年には、この動向を美術の歴史に位置づけようと、「ミニマル・アート」という言葉が使用されました。ミニマル・アートは、それ以前の抽象表現主義などに見られた衝動的あるいは主観的な表現を極限まで抑制し、イリュージョンを排し、円、矩形、三角といった幾何学的な形そのものを提示したり、物体または物質そのものに注目したり、同一の形態を反復し並列させて空間に展開することを特徴とします。代表的な展覧会として、「プライマリー・ストラクチャーズ: アメリカとイギリスの若手彫刻家たち」展(ユダヤ博物館、ニューヨーク、1966年)、「システムック・ペインティング」(グッゲンハイム美術館、ニューヨーク、1966-67年)、「アート・オブ・ザ・リアル」(ニューヨーク近代美術館、1968年)などがあります。ミニマル・アートは、絵画や彫刻といった既存のジャンルの問い合わせにもつながり、思考を重視するコンセプチュアル・アートや、場の特性を生きる空間に展開するインスタレーションにも派生、展開してきました。

本展では、当館の所蔵品および西日本シティ銀行所蔵の寄託作品のなかから、上記の展覧会に出品経験のある美術家、あるいは「ミニマリズム」を意識しながら制作を行う美術家の作品を紹介します。

(学芸員 正路佐知子)



〒810-0051
福岡市中央区大濠公園1-6
TEL 092-714-6051(代表)
FAX 092-714-6071
www.fukuoka-art-museum.jp

表紙画像: 出品作品に登場するかたち

※作家の生年順に記載。展示の順とは一致しない。

※作品情報の記載は作者名、題名(日英)、制作年、技法または材質(日英)、寸法(縦×横×奥行cm)、当館分類番号の順である。

エルズワース・ケリー Ellsworth KELLY

1923年アメリカ合衆国ニューヨーク州ニューバーグに生まれる、1940-42年ブルックリンの Pratt・インスティテュートで学ぶ。その後兵役のため一時渡英。帰国後、1946-48年にボストン美術館付属学校で学び、ヨーロッパの表現主義に接する。奨学金を得て1948年にパリへ渡り、パリ国立美術学校に籍を置く。ビザンチンの三連祭壇画やアンリ・マチスら先行世代の作品から大きな影響を受ける。また、ハンス・アルプらとも交流し、アルプのレリーフからも影響を受ける。1949年より、身のまわりに存在するものの形を限りなく単純化していくことによる抽象絵画の制作を開始。1951年にパリで初個展。1954年にニューヨークに戻り、1956年ニューヨークのベティ・バーンズ画廊で最初の個展。植物や建築物、窓といった現実の風景や事物から見出された形は、当時のアメリカの主流の抽象表現主義とは異なるものであったが、明快な形態を持つケリーの作品はミニマリズムの動向にも大きな影響を与えた。1959年、ニューヨーク近代美術館の企画展「16人のアメリカ作家展」参加。1966年「プライマリー・ストラクチャーズ：アメリカとイギリスの若手彫刻家たち」展（ユダヤ博物館、ニューヨーク）、第33回ヴェネチア・ビエンナーレに参加。1968年「アート・オブ・ザ・リアル」（ニューヨーク近代美術館）出品。1970年代以降はジェミナイ工房で100点以上の版画を制作。1972年にはバッファローのオルブライトノックス美術館で回顧展。版画以外にも、彫刻、あるいは植物や果物の簡素な輪郭のドローイングの制作も行った。2015年アメリカ合衆国ニューヨーク州スペンサー・タウンで死去。

ブルー・ブラック・カーブⅢ

Blue Black Curve III
1972
油彩・画布
oil on canvas
179.9×358.5
3-A-8

アンソニー・カロ Anthony CARO

1924年ロンドン近郊のニューマンデールに生まれる。ケンブリッジ大学クライスト・カレッジで工学を学び、1944-46年イギリス海軍艦隊航空隊に所属。1946-47年リージェント・ストリート工芸学校で彫刻の技術を学び、1947-52年にはロイヤルアカデミー・スクールで学ぶ。1951-53年ヘンリー・ムーアのパートタイム・アシスタントとして働く。1953年より1981年までセントマーティン美術学校で教鞭を執る。1956年ミラノのガレリア・デル・ナヴィリオで初個展。1950年代は粘土で人体等の具象を形作ったブロンズ彫刻を制作していた。1958年美術批評家クレメント・グリーンバーグと出会い、1959年アメリカ訪問時には現地で活動する数々の彫刻家と交流し、大きな影響を受ける。1960年鉄を用いた抽象形態で構成される彫刻の制作を開始し、翌年には鉄を彩色し素材の質感を消去した抽象彫刻に展開した。1963年ホワイトチャペルギャラリー（ロンドン）で個展、1966年「プライマリー・ストラクチャーズ：アメリカとイギリスの若手彫刻家たち」展（ユダヤ博物館、ニューヨーク）に参加。同年第33回ヴェネチア・ビエンナーレに出品。1970年代前半より、錆びた鉄板を用いた彫刻制作へと移行。1980年代には彫刻と建築の関係に关心を持ち、建築的なスケールの彫刻作品を発表。1995年には東京都現代美術展で大規模な個展開催。1987年ナイトの称号、2002年メリット勲章を受章。2013年ロンドンで死去。

カデンツア

Cadenza
1970
スチール、彩色
steel painted
109.7×116.5×107.0
西日本シティ銀行蔵（寄託）

※2階屋外広場（エスプラナーード）でも、アンソニー・カロの作品をご覧いただけます。

驚きの平面

Surprise Flats
1974
錆びた鋼、ワニス
Rusted steel, varnish
310.0×345.5×287.0
3-G-66

ソル・ルウィット Sol LEWITT

1928年アメリカ合衆国コネティカット州ハートフォードに生まれる。シラキュース大学卒業後、朝鮮戦争に従軍。1953年にニューヨーク州に移り、ニューヨークのスクール・オブ・ビジュアル・アーツで学ぶ。1955年建築家I.M.ペイのもとグラフィック部門のデザイナーとして1年間働く。1962年に絵画制作から離れ、抽象によるモノクロームのレリーフを制作。1965年連続するモジュールを使った、床置きの構造体を作成。連続する矩形の立体作品や、単純な線や面、色彩による平面作品は、ミニマリズムの動向の中で評価された。1966年「プライマリー・ストラクチャーズ：アメリカとイギリスの若手彫刻家たち」展（ユダヤ博物館、ニューヨーク）に参加。1967年には、『アートフォーラム』6月号に「コンセプチュアル・アート」という言葉とその理論を広く知らしめることになる「コンセプチュアル・アートに関する小論」を寄せ、作家にとってアイデア、思考それ自体が作品と同様に重要であることを示した。コンセプチュアル・アートを実践するように、1968年頃からは、指示書によって第三者に制作を委ねた〈ウォール・ドローイング〉シリーズを開始（当館が所蔵する〈スター・シリーズ〉もこの流れにある）。1968年「アート・オブ・ザ・リアル」（ニューヨーク近代美術館）、「ドクメンタ4」（カッセル、ドイツ）および「態度が形になるとき：作品-概念-過程-状況-情報」（ベルン美術館、スイス）に参加。1971年グッゲンハイム美術館、ニューヨーク近代美術館で個展。2007年ニューヨークで死去。

「スター・シリーズ」のためのプラン

Plan Drawing for "Star Series"
1983
鉛筆、色鉛筆・紙
Pencil and color pencil on paper
47.0×46.8
3-D-2

星一暗い中心

Stars: Dark Center
1983
エッチング、アクアチント・紙、7点組
Etching and aquatint on paper, 7 pieces
各41.8×41.9
3-E-422

桑山忠明 KUWAYAMA Tadaaki

1932年愛知県名古屋市に生まれる。1956年東京藝術大学日本画科卒業。現代アートの道に進むべく1958年に渡米し、当初はアート・スクールで学ぶ。1955年建築家I.M.ペイのもとグラフィック部門のデザイナーとして1年間働く。1962年に絵画制作から離れ、抽象によるモノクロームのレリーフを制作。1965年連続するモジュールを使った、床置きの構造体を作成。連続する矩形の立体作品や、単純な線や面、色彩による平面作品は、ミニマリズムの動向の中で評価された。1966年「プライマリー・ストラクチャーズ：アメリカとイギリスの若手彫刻家たち」展（ユダヤ博物館、ニューヨーク）に参加。1967年には、『アートフォーラム』6月号に「コンセプチュアル・アート」という言葉とその理論を広く知らしめることになる「コンセプチュアル・アートに関する小論」を寄せ、作家にとってアイデア、思考それ自体が作品と同様に重要であることを示した。コンセプチュアル・アートを実践するように、1968年頃からは、指示書によって第三者に制作を委ねた〈ウォール・ドローイング〉シリーズを開始（当館が所蔵する〈スター・シリーズ〉もこの流れにある）。1968年「アート・オブ・ザ・リアル」（ニューヨーク近代美術館）、「ドクメンタ4」（カッセル、ドイツ）および「態度が形になるとき：作品-概念-過程-状況-情報」（ベルン美術館、スイス）に参加。1971年グッゲンハイム美術館、ニューヨーク近代美術館で個展。2007年ニューヨークで死去。

メタリックブラウンとグレー

Metallic Brown and Gray
1973
アクリル・画布、アルミニウム、木
acrylic on canvas, aluminium and wood
209.5×240.8×4.8
2-A-146